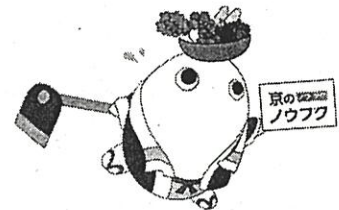


平成29年度

京都式農福連携構築事業の事業報告について

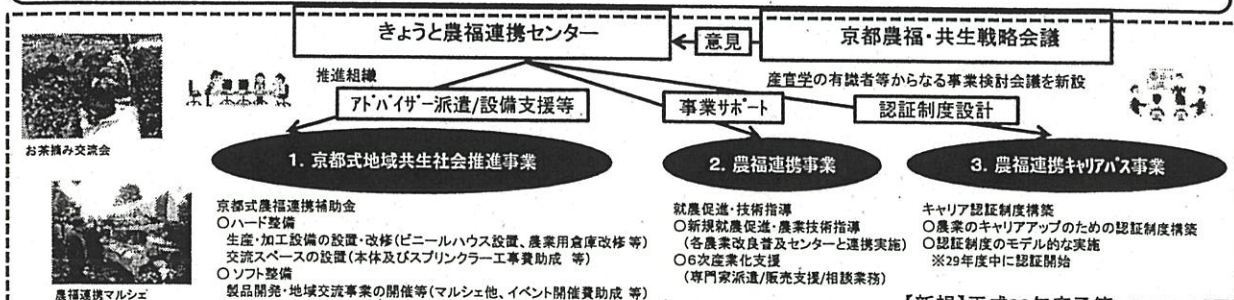
平成30年3月29日

きょうと農福連携センター



京都式農福連携構築事業の概要

農福連携を軸に、障害者の就労促進や居場所を創造すると共に、障害者をはじめ地域の多種多世代の人々が地域の「担い手」を育む京都式地域共生社会づくりを推進する。

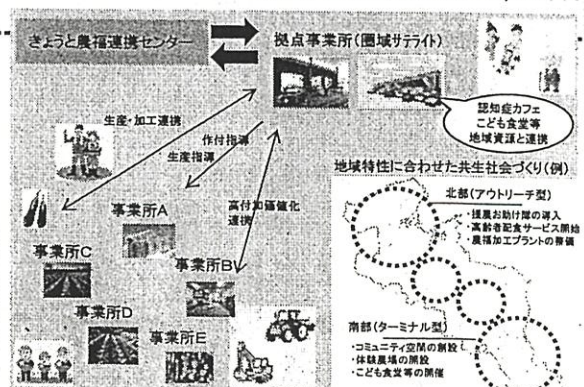
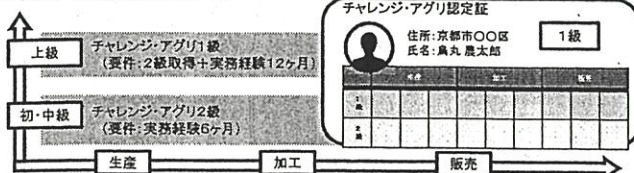


【新規】平成29年度予算:115,000千円

■京都式農福連携補助金

	ハード整備	ソフト整備
対象	生産・加工設備／交流拠点	製品開発／交流事業
基準額	事業所 5,000千円	一律 3,000千円
補助率	2/3	2/3

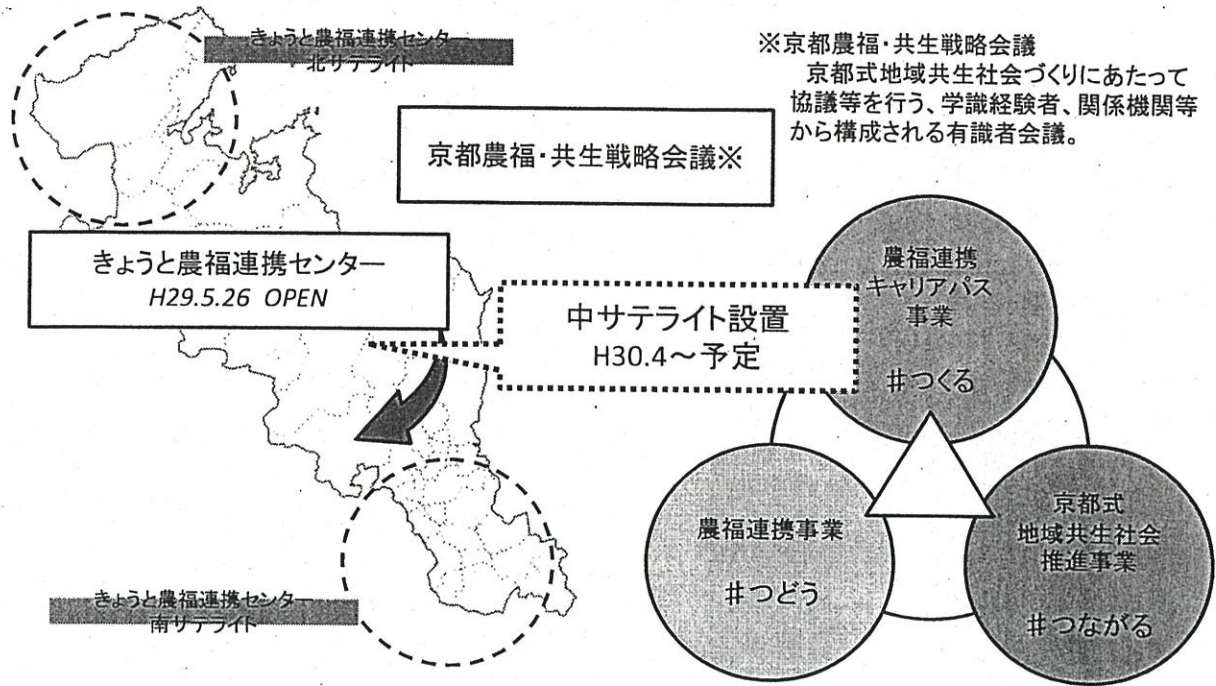
■キャリア認証制度構築(イメージ)



全国に先駆け、京都の強みを活かした地域共生社会の京都モデルを全国に発信！



# 京都式農福連携構築事業の概要



## 農福連携事業

#つどう  
Gathering

地産地消の和で地域につどい、  
地域農業の生産性を高める。

マルシェの開催支援



専門家による作付指導

栽培品種	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
タマネギ								●	→	→	→	→
ニンジン						●	→	→	→			●
カラダゴボウ												●
ジャガイロ			●	→								●
ホウレンソウ						●	→	→	→			●
コマツナ						●	→	→	→			●
シシトウ						●	→	→	→			●



農福連携事業(アドバイザー派遣)について

○主な相談内容・対応等

・無農薬(低農薬)栽培について技術指導をお願いしたい。  
→既に無農薬栽培等されており、組織内で検討した結果、既存のやり方を変更すると指導員や利用者が困惑する恐れがあるため、現状のままで様子を見ることになった。

・台風の影響で中折れした九条ネギの対応。ハウスの破損措置について。  
→アドバイザー派遣及び改良普及員の派遣により一先ず解決した。

・重度の方でも取組めるよう、年中同じ作業に従事できる環境を整えたい。また、どのような作物が適しているのか。  
→現在、組織内で協議中。近日中に派遣依頼がある見込み。

☆アドバイザー派遣受付中☆

作付計画について相談したい  
思ったように育たない  
収穫で農薬を止めたい  
人材育成について教えてほしい

・施設について悩んでいる  
・害虫対策について教えてほしい  
・他の事業所や企業と連携したい  
・人が集まる場を作りたい

届いたことや聞いてみたいことがあればお電話にご連絡ください。  
♪きょうと農福連携センター 075-414-1600・42661

家のノウフク  検索

↓ 派遣までに至った事例が少ない

掲載予定  
(平成29年度末 予定)

○利用促進のための改善方法

- ・アドバイザー派遣のチラシを作成し、各市町村に配布し各事業所に情報提供
- ・アドバイザーのプロフィールなどの情報をHP等に掲載(予定)

平成29年度 マルシェ開催一覧

29年

7年10月1日(日)  
00~15:00 入場無料

ノウフク  
マルシェ  
9月2日(土)~3日(日)  
場所:京都マルイ店  
http://www.noufuku.jp

主催者等	日程	開催場所	イベント名	備考
さんさん山城	H29.4.22	さんさん山城 京田辺市	さんさん山城2017 マルシェ	地域の子育て団体や 他の事業所と連携
京都府	H29.5.26	みやこメッセ 京都市	京都府農福連携センター 開所式	京都府農福連携センター 開所式+マルシェを開催
全国農福連携協議会 (京都府共催)	H29.9.2.3	京都マルイ 京都市	ノウフクマルシェ	農福連携全国都道府県ネット ワークとも共催で全国規模で開催
(株)アットホーム	H29.10.1	るり溪やぎ農園 南丹市	るり溪収穫祭	やぎ搾乳やえさやり体験など 主に地元住民を対象として開催
京都府	H29.10.21 11.3	京都府庁 京都市	農福連携(ノウフク) マルシェ×観芸祭2017	例年実施、今年度は併設して スイーツコンテストを実施
滝・金屋農業振興会 (リフレかやの里加盟)	H29.11.5	よさの野菜の駅 (旧道の駅)	『滝・金屋命の里』 大感謝祭	地域の農業者を中心に開催 リフレかやの里 協力
京都ひらぎの ワークスタO	H29.11.25	京都ひらぎの ワークスタO 京都市	秋の収穫祭&臨床美術展	炊き出しやみかん狩り体験など 主に地元住民を対象として開催



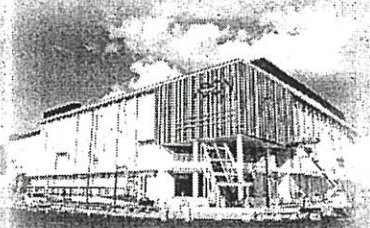


主催者等	日程	開催場所	イベント名	備考
京都府	H30.1.29 21	イオンモール京都桂川 京都市	新春大感謝市 (ノウフクマルシェ)	唐辛子栽培取組を公表 障害者スポーツ普及とのコラボイベント
さんさん山城	H30.3.10	さんさん山城 京田辺市	さんさん山城2018 マルシェ	子育て団体や他の事業所と連携 カフェ整備のお披露目イベント
京都府	H30.3.11	西京極運動公園 京都市	第29回全国車いす 駅伝競走大会	福引きを実施 (事前配布・商品購入に補助券配布)
京都府 北サテライト	H30.3.18	丹後王国 「食のみやこ」 京丹後市	自然とふれあう ノウフクマルシェ	丹後王国の行事の一環として実施 ネギの植え替え体験等を実施
京都府 南サテライト	H30.3.18	京田辺中央公民館 京田辺市	ノウフクマルシェ2018 京都山城お茶の祭典	式典・基調講演を実施 (地域拠点マルシェ)
亀岡 地域協議会	H30.3.18	保津川河川敷 亀岡市	第1回かめおか 農福マルシェin保津川	地元のランニング大会との同時開催
京都府	H30.3.24 25	京都府庁	ノウフクマルシェ × 観桜祭2017	スイーツコンテスト、ビンゴ大会、 福引き等を実施

## 多彩なマルシェ

### 都市型マルシェ

販路拡大や新商品開発を  
めざした実践販売を実施

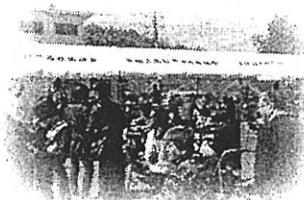


[29年度実績]  
3ヶ所で開催

例: ノウフクマルシェ(マルイ)  
新春大感謝市(イオンモール)

### 郊外型マルシェ

道の駅等での販売を通じた  
物産・商工連携を図る



[29年度実績]  
9ヶ所で開催

例: 「滝金屋命の里」大感謝祭  
ノウフクマルシェ(食のみやこ)

### 府庁マルシェ

農福連携の職業訓練の場  
として、各種販売実演を行う



[29年度実績]  
2ヶ所で開催

例: ノウフクマルシェ×観芸祭  
ノウフクマルシェ×観桜祭



○広報啓発活動

- ・センター開所と合わせて、公式ホームページ「京のノウフク」を開設。(http://www.kyo-noufuku.com/)
- ・府民だより7月号で、京都式「農福連携」の特集を掲載。  
(http://www.pref.kyoto.jp/koho/dayori/201707/toku\_01.html)



南・北サテライト HPサイト  
(平成29年度末 始動)

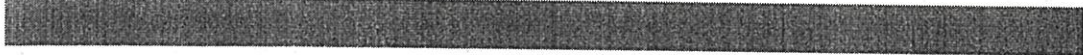


- ・京都式農福連携構築事業について、新聞、TV等でも報道。  
【主な報道等】

- ▶京都新聞、日本経済新聞、日本農業新聞、福祉新聞
- ▶NHK京都放送局
  - 京いちにち(10月5日放送)の中で、京都府内の農福連携の特集を放送
- ▶京都放送(KBS)
  - おやかまっさん(6月1日)の中で、きょうと農福連携センターの取組を紹介
  - newsフェイス(10月9日)の中で、京都府内の農福連携の特集を放送
  - 京都アカデミー(10月23日)で、「京都式農福連携」の番組を放送  
(https://www.kbs-kyoto.co.jp/tv/academy/)



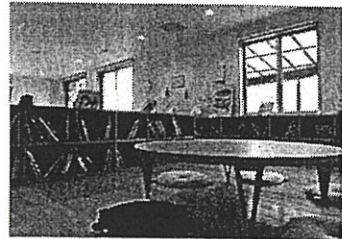
京都式地域共生社会推進事業



#つながる  
Connecting

地域の多種多世代が  
つながり・よりそう環境を整備する

地域交流スペースの設置



高齢者向け配食サービス



■京都式農福連携補助金

	ハード整備	ソフト整備
対象	生産・加工設備 地域交流拠点整備	製品開発 交流事業
基準額	5,000千円	3,000千円まで
補助率	2/3	2/3



## 主な農福連携に携わる府内の事業所

府内の状況  
 ・就労系事業所約378事業所のうち約53事業所が農福に取り組んでいる。

単位：人

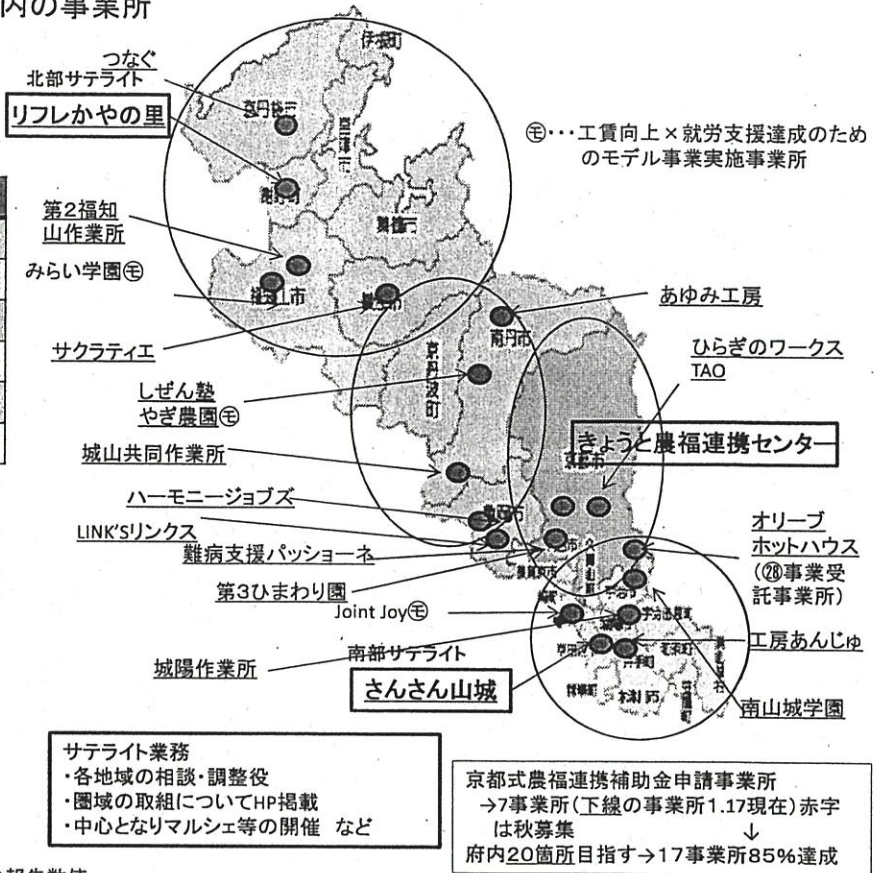
人口推移	H28.7.1	H29.7.1
丹後	96,119	94,316
中丹	195,435	193,550
南丹	136,052	134,845
京都市	1,475,206	1,472,395
乙訓	149,630	151,517
山城	554,345	554,225

北部は人口減、南部は人口微増。

単位：%

高齢化率	H27.3.31	H28.3.31
丹後	34.6	35.3
中丹	30.1	30.7
南丹	28.7	29.7
京都市	26.5	27.1
乙訓	25.7	26.2
山城	26.0	26.8

府内全域高齢化率は増加しており、特に北部は高齢化が進んでいる。  
 ※住民基本台帳に基づく市町村からの報告数値



## 平成29年度京都市農福連携補助金一覧(春期分)

(単位：千円)

圏域	主な事業内容	事業費			備考
		交付決定額 (確定値)	ハード整備	ソフト整備	
与謝野町	ハード：加工施設整備、移動販売車リース ソフト：高齢者サロンの開催費用	15,333	13,333	2,000	
京田辺市	ハード：選果場・加工場改修、加工機器の設置、育苗施設新設 ソフト：マルシェの開催経費、農業指導受講	15,333	13,333	2,000	
南丹市	ハード：移動販売車両購入 ソフト：交流事業開催経費	2,808	2,388	420	
京都市	ハード：ビニールハウス設置、移動販売車両購入 ソフト：マルシェの開催経費	1,995	1,766	229	
井手町	ハード：ビニールハウスの設置 ソフト：体験農業の委託経費	4,682	3,333	1,349	
京都市	ハード：カフェスペース・加工場の改修 ソフト：農業体験場の整備、商品開発	5,333	3,333	2,000	
南丹市	ハード：ビニールハウスの設置、耕耘機購入 ソフト：交流事業経費、農業指導受講	3,719	3,333	386	



平成29年度京都式農福連携補助金一覧(秋期分)

(単位:千円)

圏域	主な事業内容	事業費分		備考
		交付決定額 (確定値)	ハード整備	
京丹後市	ハード:加工場の整備 ソフト:商品開発、販路拡大	4,602	3,333	1,269
福知山市	ハード:ビニールハウスの設置	202	202	
綾部市	ソフト:新商品の開発、マルシェ備品	1,759	596	1,163
南丹市	ハード:農機具の購入	538	538	
亀岡市	ハード:ビニールハウス設置、農機具購入	1,738	1,738	
亀岡市	ハード:製パン施設整備 ソフト:技術指導費	3,592	3,333	259
京都市	ハード:粉碎器 ソフト:肥料等	334	194	140
京都市	ハード:フードコンベクション、ラベルプリンタ ソフト:マルシェ備品	1,977	1,565	412
宇治市	ハード:加工施設、カフェスペース整備 ソフト:商品開発経費	3,549	3,333	216
城陽市	ハード:冷蔵庫購入、農機具の購入	413	413	

京都式農福連携補助金交付事例①

京都北部(与謝野町)(福)よさのうみ福祉会 リフレかやの里

事業所概要

- 閉鎖されていた公立の宿泊型保養施設リフレかやの里の再生を目指して、福祉と地域と行政が連動し、2011年にスタート。
- 就労A型・B型事業に取り組み、地元農産物の加工、パンの製造、レストラン、ホテル、浴場の運営を展開。農産物の直売所も併設。
- 昨年5月26日にきょうと農福連携センター北部サテライト拠点に指定。



農福連携の状況

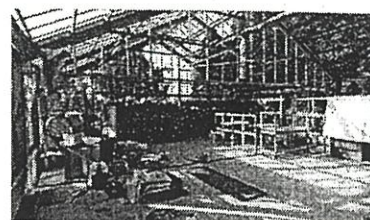
- 2011年のスタートと同時に加工場も稼働。農産物加工やパン・ケーキ製造等を行っている。
- 農産物加工、パン製造、宿泊施設のレストランでは、地元農家とも連携し、地元農産物を活用し、地産地消に取り組む。農産物加工等については、地元農家の規格外の野菜や果物等を活用し、地元農家にもメリットを生む取組を実施。
- 農産物直売所も運営し、地元農家とも契約し、販売。平成29年6月からは閉鎖された道の駅を活用した直売所にも参画。

京都式農福連携補助金の活用方法

【総事業費:23,363千円、補助額:15,333千円】

- 事業所の強みである加工施設を強化(第2加工場の整備)し、農家との連携による加工品の生産拡大を図るとともに、過疎化が進む地域の実情を踏まえ、移動販売の強化による買物困難者への支援を強化

☆少子・高齢化が進み、地域コミュニティの希薄化や農業等の人材不足が深刻化している与謝野町において、障害のある方の就労の拡大と地域交流の拡大等により、地域の多種多世代の方が繋がることで、地域コミュニティの再生と地域経済の活性化を目指す





京都式農福連携補助金交付事例②

京都南部(京田辺市)(福)京都聴覚言語障害者福祉協会 さんさん山城

事業所の概要

- 2011年4月に開所。聴覚障害のある方を中心に、農作業、縫製品や木工品の製作等を実施。
- 就労B型に取り組み、農作物の生産に加えて、加工、コミュニティカフェの運営等も実施。
- 昨年5月26日にきょうと農福連携センター南部サテライト拠点に指定。



農福連携の状況

- 山城地域の特産品①宇治茶、②京都えびいも、③京都田辺なすなどの生産を行い、JAにも出荷。農業の担い手として地域農業に貢献。また、宇治茶の苗木の育苗を行い、地元のお茶農家にも提供している。
- 手摘みの高級抹茶を使用した「濃茶大福」「抹茶クッキー」、京都えびいもで作った「えびいもコロッケ」などを地域の模擬店等で販売。
- 地域交流のためのさんさん山城マルシェを発展させ、平成29年6月から、事業所の中に、コミュニティカフェをオープンし、地域の方に開放し、事業所で生産した野菜等を使ったランチを提供。

京都式農福連携補助金の活用方法

【総事業費: 23,363千円、補助額: 15,333千円】

- 6月にオープンしたコミュニティカフェを多くの方に利用していただけるよう改装するとともに、京都特産品を用いた加工をさらに拡大するために加工施設等の整備を行い、6次産業化を推進

☆子育て世代等も多く生活する地域において、地域交流機能を強化し、京都特産品の消費拡大も行うことで、多種多世代が繋がる地域共生社会のモデルを実現するとともに、障害のある方の工賃水準の向上や社会参加の拡大を図る

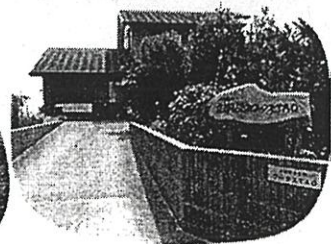


京都式農福連携補助金交付事例③

京都市内(NPO法人)ひらぎのワークスタO

事業所の概要

- 2010年5月にB型事業所を開所。障害のあるこどもの作業所としてスタート
- 室内作業としては神社仏閣に関する種々のお札・お守りの紐付け・袋入れ作業、箱折作業等を実施。
- 地域の特性を生かした露地栽培、ハウス栽培の京野菜を作り、宅配販売、各種バザー出店



農福連携の状況

- 収益の良い京野菜等を中心に近隣農家の指導や協力をえながら、生産を実施
- 地域の高齢者等の住民に個別販売を展開。また、区役所などでも決まった日程で定期販売を行い、地域で販売を行っている。またバザーやマルシェなどでも積極的に販売を実施
- 事業所内で収穫祭を実施。近隣住民を中心として、作品展等とも結びつけながら、他の作業所等と合同で実施。

京都式農福連携補助金の活用方法

【総事業費: 4,109千円、補助額: 1,995千円】

- 移動販売を強化するため、販売車を購入。トラクター等n農機具を購入し生産力を強化

☆利用者とも各戸販売を展開することで地域に事業活動の理解を促進するとともに顔がみえる関係を構築。障害者が育てた安心安全な野菜の社会的認知を拡大。また高齢者の見守り活動の一翼を担う  
マルシェは11月に実施。みかんがりや落書きコーナーの設置など地域住民にも参加できる企画を実施  
今後生産力の増加に伴い、販売活動を強化の予定





京都市(福)向陵会 第3乙訓ひまわり園

事業所の概要

○2017年6月に開所し、新に農作業に取り組む事業所である。  
 ○京都市の洛西に位置し、比較的周りに農家も多い。  
 ○定員10名の生活介護に取り組み、体験農業の実施、農作物の生産に加えて、近隣住民と連携し商品開発を行い、コミュニティカフェの運営等で提供することを計画されている。



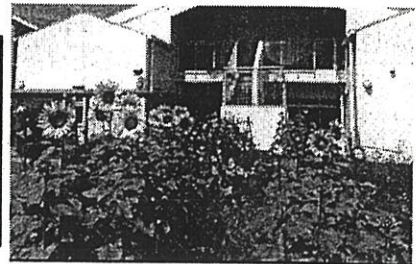
農福連携の状況

○コミュニティカフェのオープンに向け、事業所の改装を実施中。当初は夜景を楽しめるカフェを検討されていたが、設備の問題で断念。地域住民やハイキング等の休憩所として活用を期待していたため、1階部分をカフェスペースにすることになった。今後は、事業所で生産された野菜等を使ったランチメニューを近隣住民と開発し、提供することを計画している。  
 ○事業所内にある荒地を修復することにより、近隣の子どものための繋がりを作るため体験農業を実施する。また、カフェスペースの一般解放やマルシェなどを開催し、地域の方々とふれあえる機会を創造する。

京都式農福連携補助金の活用方法

○多くの方が集まれるようコミュニティカフェを改装するとともに、一般開放した際には、利用しやすいよう工夫を行う。また、地元農家や近隣住民と連携し地元食材を活用したカフェメニューを開発し発展を期待する。

☆地域食材を用いることにより地域貢献及び観光客等の情報発信源となり、多種多世代が繋がる地域共生社会の推進に寄与するとともに、障害のある方の工賃水準の向上や社会参加の拡大を図る。



農福連携キャリアパス事業

#つくる

作業能力や適正を見える化し  
 Growing  
 地域に参画する人材をつくる。

■キャリア認証システムの創設

キャリア認証を導入すると...

(就農者側)  
 次にどんな作業をすればよいかわからない



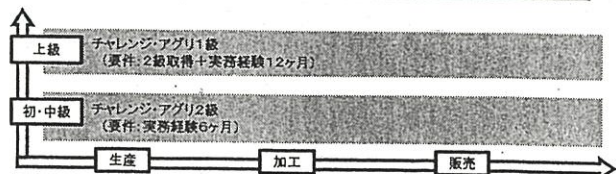
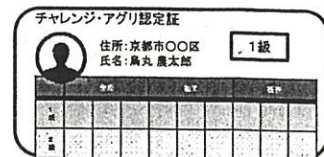
↓  
 自分たちの仕事に自信がもてるようになった!

(雇い主側)  
 何に困っているのかわからない。



↓  
 彼らは何が得意なのかわかった!

■キャリア認証(例)





# 農福連携キャリアパス制度 -基礎課程- <概要>

講義2回及び実技8回、計10回(40時間)の課程を通じて、農業の基礎について体得し、農業での働きがいや、作業技術の習得を図る。



## 講義・実技課程(フロー)



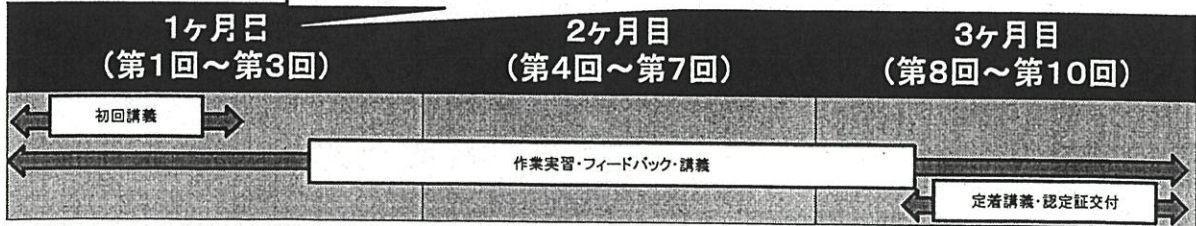
## 講義・実技概要

- 目的
  - ・障害者の農業に対する知識・技術の見える化
  - ・就労や社会参加へのモチベーションの向上
  - ・作業工賃等に関する処遇改善
- 対象
  - ・農作業に従事する障害者(特性要件を設けない)
- 認証(評価)
  - ・学習到達度及び就労適性等について評価

## 運用計画等

### 運用イメージ

- 全10回(40h)通所型の認証制度
- 第1回は初回講義(4h)
  - 第2回～第9回は作業実習3h(うち0.5hは実習前M)、フィードバック講義1h
  - 第10回は定着講義(4h)



### 初回講義

回数: 1回 時間数: 4時間(開始月1回)

- ・キャリア認証講座の開始月に「仕事のいろは」「社会人マナー」について学ぶ初回講義を実施。

### 作業実習・フィードバック講義

回数: 8回 時間数: 32時間

- 【作業実習】
- ・作業実習を通して、農業技術の習得と集団意識を養いながら就労基礎力の向上を図る。
  - ・講座開講中は、専任支援員によるアセスメント～モニタリングを行い、能力と可能性について図る。
- 【フィードバック講義】
- ・作業実習での学習内容をふりかえり、知識や技術の定着を図る。

### 定着講義

回数: 1回 時間数: 4時間(最終月1回)

- ・農業全般についての基本理解を深めるため定着講義を実施。



# 農福連携キャリアパス制度 -基礎課程- <学習・運営>

## ■学習(1日の動き)

	講義回	実技回
10:00~10:10	身だしなみチェック	
10:10~10:30	講義ダイジェスト確認	実技ダイジェスト確認
10:40~12:40	講義(作物の種類) ケーススタディ(栄養素)	実技(畑の耕しかた) (肥料のあげかた)
12:40~13:30	昼休憩	
13:30~15:30	講義(業務報告の仕方) グループワーク	実技(畝の扱いかた) 実技ふりかえり
15:30~15:50	1日のふりかえり	

### ●学習

- ・講義・実技開始前に「身だしなみチェック」を行う
- ・農業の作業工程にあわせて実習、教本でふりかえる
- ・報告・連絡・相談のしかた等、職業訓練を行う

### ●運営

- ・講義・実技について、南北サテライトへ委託実施  
(サテライト拠点の事業所農地を使用)
- ・講師役は、原則サテライト事業所支援員が担う

## ■教本(もくじイメージ)

### もくじ

### 学習ノート

- Day 1 初回講義
- Day 2 実技① 畑づくり
- Day 3 実技② 種まき
- Day 4 実技③ 発芽と間引き
- Day 5 実技④ 生育管理①(間引きと追肥①)
- Day 6 実技⑤ 生育管理②(間引きと追肥②)
- Day 7 実技⑥ 収穫してみよう
- Day 8 実技⑦ 製品づくり
- Day 9 実技⑧ 販売してみよう
- Day10 定着講義

## 講義・実技(フロー)

### ■講義編(D1・D10)

	講義時間	内容
朝礼	10:00~10:30(30分)	ミーティング(身だしなみ・ふりかえり) ・プレ講義
講義	10:40~11:40(60分) 11:50~12:50(60分)	講義
(昼休憩)	12:50~13:30(40分)	昼食・トイレ休憩
講義	13:30~14:30(60分) 14:40~15:40(60分)	講義 フィードバック(まとめ・反省)

### ■実技編(D2~D9)

	講義・実技時間	内容
朝礼	10:00~10:30(30分)	ミーティング(身だしなみ・ふりかえり) ・プレ講義
実技	10:40~11:40(60分) 11:50~12:50(60分)	実技
(昼休憩)	12:50~13:30(40分)	昼食・トイレ休憩
講義	13:30~14:30(60分) 14:40~15:40(60分)	講義 フィードバック(まとめ・反省)



「チャレンジ・アグリ認証－基礎課程－〈プレ認証〉」  
検証会①②

乾AD

- ・各支援員向けの指導研修も取り入れられないか。
- ・この認証の出口（農家、法人等）向け活用策を検討すべき。



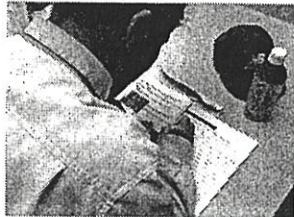
さんさん山城

- ・受入定員は5～10名が限界。
- ・受講期間中は農業班の通常業務が困難のため検討要。



事務局

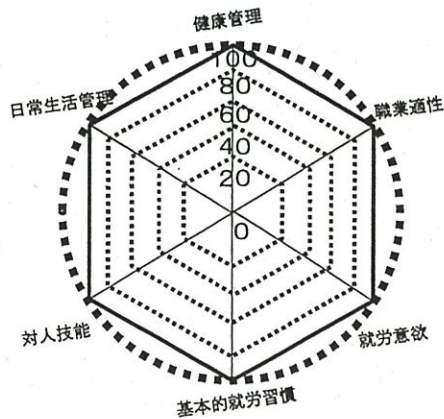
- ・受講期間中での支援者面談の機会をつくりたい。
- ・確認テストは随時実施して定着度を測っていききたい。
- ・耕作器具、体制の改良にも言及していききたい。



評価① 就労適性について

個人特性分析

【レーダーチャート】



研修前 [総合スコア: 点]      研修後 [総合スコア: 点]

研修前後に“社会人基礎力チェック”を実施  
就労適性について評価。



## 評価② 学習到達度について

### 到達度分析

単元	学習項目	到達度判定					
		0%	20%	40%	60%	80%	100%
はたらく分野	自己理解・他者理解						
	就労への態度・関心						
農業分野	農業全般への理解						
	栽培の基礎知識						
	消費者への関心						
生活と暮らし分野	栄養に関する理解						
	食への関心						

### 総合特性

講座内にて“確認チェックテスト”を実施  
学習到達度について評価。

## 平成29年度 京都市農福連携構築事業 概要報告

### ○京都市地域共生社会推進事業

- ・京都農福・共生戦略会議4
- ・施設等整備17(うち拠点2)
- (ハード整備対象16・ソフト整備対象12)
- 注)ハード:各種工事・農耕器具導入等、ソフト:イベント支援等



### ○農福連携事業

- ・マルシェ開催(都市型3・府庁2・地域9)
- ・物産・商工連携(道の駅など2)
- ・専門家派遣(農業指導5・地域連携フェロー3)



### ○農福連携キャリアパス事業

- ・キャリア認証構築ワーキング(WG)開催数6
- ・認証講座(全5回(学科5・実技5))
- ・修了予定者8





# 京都式農福連携事業 30年度年間計画

